

なぜ、「生涯学習まちづくり計画」を策定するの？

関市における背景からの必要性

- 平成17年(2005年)2月7日に関市と旧武儀郡5町村とが合併し、地域住民の生涯学習の支援を体系的に整理し、市全体としての生涯学習活動の活性化に向けた基本的な方向づけと、地域の実情にあった生涯学習活動の具体的な支援が求められています。
- 社会変化により、今までの取り組みに加え、さらに職業能力の向上、家庭や地域の教育力の向上、高齢社会への対応、地域課題の解決へとつなげていくための対応が求められています。

全国的な背景からの必要性

次のようなことへの対応が求められています。

- 若者のフリーター・失業者などの雇用問題への対応
- 近年の都市化、核家族化、少子化などによる家庭の教育力の低下への対応
- 地縁的なつながりの減少などによる地域の教育力の低下への対応
- 団塊の世代の高齢化による高齢者の増加に伴う医療費などの社会保障関係経費の増加などの問題への対応
- グローバル化による産業の空洞化、少子高齢化などによる地域社会の活力の低下への対応
- 団塊世代が定年を迎える居場所づくりをはじめとした2007年問題への対応



いつまでの計画？

- 計画の期間は、平成19年度(2007年度)から平成28年度(2016年度)までの10年間とします。

